

探究通信

2025 (第3号)
富山県立高岡高等学校

2025年10月発行
編集 探究科学委員

フィールドワークで立山の自然や歴史学ば 1年探究科学科 立山実習

7月29日(火)、1年探究科学科が立山実習に行ってきました。生物・地理・歴史・地学の4班に分かれてフィールドワークを行いました。昨年度は荒天のため一部の行程が変更になりましたが、今年度は天候に恵まれて全ての班が予定通り実施できました。各班の活動を以下に報告します。

生物班



室堂周辺の植物を観察

美女平や室堂、弥陀ヶ原で植物を観察し、普段見ている植物と高山植物、外来種と日本の植物を比較しました。

【感想】標高が高い場所では、普段見ない高山植物を見ることができました。気候に応じて各々の生活しやすい形態に変化していることも分かりました。

歴史班



立山博物館で曼荼羅を鑑賞

立山博物館で学芸員の方のお話を聞いたり、資料を見たりして、立山信仰や立山曼荼羅について学びました。午後は室堂周辺の散策も行いました。

【感想】立山の歴史や立山に咲く花の名前などに関する興味深い話を聞けました。事前学習も含めて立山のことをより深く学ぶことができました。

地理班



職員の方の案内でダムを見学

北陸電力の講師の案内のもと、火力発電所、太陽光発電所、水力発電所、有峰ダムを見学しました。

【感想】再生可能エネルギー発電の増設は環境リスクもあり、単純な話ではないことが分かりました。事前学習ではCO₂排出削減案について協議し、他の班員の柔軟な発想に刺激を受けました。

地学班



大転石の計測に挑戦

気圧と沸点の関係の実験を行い、室堂周辺で地形や岩石の観察を行いました。板状節理や地獄谷、ミクリガ池、大転石の計測も実施しました。

【感想】立山の壮大な自然を感じながら、珍しい岩石や地形を見ることができ、とても充実した探究活動ができました。

富山ゆかりの作家の熱意に触れる 2年人文社会学科 高志の国文学館研修

7月23日(水)、2年人文社会学科は高志の国文学館で研修を行いました。常設展「ふるさと文学の蔵」と、企画展「アニメ監督×万博プロデューサー河森正治展」を鑑賞した後、絵本を読むワークショップに参加しました。常設展では、富山県ゆかりの作家さんの文学作品の展示を見て、富山の文学について理解を深めました。また、南砺市平村出身で、アニメ『マクロス』などを手がけたアニメ監督・万博プロデューサーの河森正治さんの企画展を観覧しました。デザイン画や絵コンテなどの資料が千点以上展示されており、制作の舞台裏を垣間見ることができました。膨大な資料からは、「唯一無二のオリジナルをつくる」という制作者の熱意が伝わってきました。

ワークショップでは、絵本の絵を読む活動を行いました。グループごとに絵に込められた工夫や仕掛け、絵本の主題を読み解きました。グループで話し合いながら進めていくと、登場人物の距離など細かいところで表現されているストーリー展開に気づき、面白く感じました。絵本とは小さい子が読むからといって単純なものではなく、工夫がちりばめられているのだと分かり、有意義な研修となりました。



展示に見入る生徒たち

普段はできない高度な実験に挑戦 2年理数科学科 県総合教育センター実習

7月23日(水)、2年理数科学科は県総合教育センターで実習を行いました。物理・化学・生物・地学の4講座から2講座を受講し、学校では使用できない実験機器を使って高度な科学実験を体験しました。

物理班



トラックピッチの測定の様子

DVDのトラックピッチを測定しました。トラックとは、音や映像を2進数で表したものをディスクにつけた凸凹のことです。ディスクに光を反射させ、トラック間の距離を測定しました。また、アルミ缶に穴をあけ、飲み口にCDやDVDの欠片を貼り付け、私たちが見ている光が何色で構成されているか調べる器具を作りました。きれいな虹が見られて楽しかったです。

生物班

ウシガエルを使った解剖実験で、臓器や血液、神経などの観察を行いました。摘出後に生理食塩水に浸しておいた心臓が、洞房結節の働きでしばらくの間拍動し続けていたことが印象に残っています。また、神経の観察では、電流を流すと筋肉が収縮する反応が見られてとても興味深かったです。



ウシガエルの解剖の様子

～編集後記～

- ・今年は天候に恵まれ、予定通り立山実習を実施できました。各観察や実験を通して、多くの学びを得ることができました。(1年探究科学委員)
- ・センター実習は、一つ一つ丁寧に解説してくださったので、高度な実験にも楽しく取り組めた。また、実際に目で見て観察することで、普段の授業では得られないような学びを多く得ることができた。(2年探究科学委員)